公立大学法人　横浜市立大学
理事長，学長　殿

前略
突然のことで誠に恐縮でございますが、重大なご報告とお願いを申し上げます。
横浜市立大学旧第２外科医局はこれまでに経験したことのない危機に直面しております。
旧第２外科学教室では、医局員全員が博士号の名に恥じない論文を作成することを目標に、研究の指導がされて参りました。これにより多くの医局員が査読付きの英文論文を完成し、便宜など供与される必要もなく博士号を取得するに至っております。
過日、名古屋市立大学で博士号取得の便宜供与に関わる贈収賄事件が世間を騒がせましたが、当医局に対する同様の醜聞が内通という形でまずは大学に通報され、[redacted]と聞き及びます。前述のとおり医局員が博士号を取得した際に提出された論文は、日本中どの大学においても博士号取得に足る立派な論文であり、何らかの便宜供与など全く不必要であるにもかかわらずです。
大学側はコンプライアンス委員会を立ち上げ、[redacted]歪曲された事実関係を作り上げてまで医局を混乱に陥れようとする者達に加担することと同じであり、大学の自治と浄化能力を否定することに繋がりかねません。そこで、本件問題を適切に解決できる環境を整えるため、貴職らに置かれて

は、早急に本事件の発端となった人間達（恐らく大学のコンプライアンス委員会の立ち上げの原因となった投書をした者）の厳しい責任の追及と猛省をお願いしたいと考えます。
また、そのために必要であれば我々医局一同は協力を惜しみませんので、何なりとお知らせ下さい。
以上、申し入れ致します。

平成20年2月12日

横浜市立大学　消化器・腫瘍外科学（旧第二外科）教室
[redacted]
他　有志

[redacted]